

視覚情報研究室

畔津 忠博（あぜつ ただひろ）

自己紹介及び専門

2016 年度より文化創造学科に所属することになりました。それ以前、また、現在も兼任していますが、大学の情報関連の部署に所属しており、授業では全学教育のコンピュータ・リテラシーなどを担当しています。

研究では、画像や音声といった身近な信号に対して、コンピュータを用いた信号処理を行うことを主なテーマにしています。信号処理とは、取得した信号に対して、雑音を除去したり、埋もれた情報を取得したり、目的に合わせて強調したりと幅広い処理を総称したものです。分かりやすい例は、カラー画像の強調処理です。明度や彩度が十分でない画像に対して、適切なアルゴリズムを適用して画質の改善を行います。

専門演習の概要

前期は、情報処理や信号処理に関連した分野から、比較的読みやすいものを選んで、参加者と一緒に読んでお互いに理解を深めていきます。後期は、参加者の興味に応じて文献を選択し、講読していきます。

卒業演習の概要

まずテーマを選択し、例えば、画像処理に関連したテーマの場合は、それについてテキストなどを通じて基本的な考え方を理解した後、先行研究の調査を行い、新たな方法の考案や別の角度からの見直しなどを目指します。さらに、プログラムの作成、シミュレーションの実施を行い、方法の評価を行います。最後にそれらを卒業論文の形にまとめます。